

安心できる健康・福祉社会の実現

実現 敬老パスは65歳からの交付を堅持 / 名鉄・JR・近鉄への利用拡大
敬老パスは65歳からの交付を堅持。
令和4年2月より、名鉄・JR・近鉄を敬老パスの対象交通機関とする制度変更を実施。

実現 骨髄バンクの普及啓発、患者や家族を支える環境の整備
令和4年度より愛知県内すべての市町村がドナーに対する助成制度を導入。ドナー登録数の少ない若年層をターゲットに、SNS、市内映画館のCM、ライブイベントなどを活用し、正しい知識の普及啓発を実施中。

実現 災害時に避難所となる小中学校の体育館へ空調設備を完備
令和4・5年度の2か年で中学校と特別支援学校への整備を完了予定。小学校については、令和5年度から整備に着手できるよう調整中。

教育を政治の力で支えます

継続 安心・安全でおいしい給食を提供できる環境づくり
令和4年度までに7校を対象に、空調設備及び老朽化した調理器具の更新を実施。引き続き、全校の調理場に空調設備の導入ができるよう提案します。

継続 給付型奨学金の拡充
経済的理由により大学への進学が難しい世帯（住民税非課税世帯・準ずる世帯）に対し、令和2年度より授業料・入学金の免除・減額＋給付型奨学金の支給を実施中。高等学校への就学に対しても、令和3年度より必要な学資を1～3年生、定時制4年生を対象に支給。引き続き、学ぶ意欲があれば学べる環境にすべく、給付型奨学金の拡充を提案していきます。

子育て支援の推進

実現 子ども医療費「18歳まで無償化」の実現
令和4年1月から、通院にかかる医療費についても、18歳に達する日以後の最初の年度末まで対象を拡大しました。

実現 児童虐待の予防と早期発見のため、地域諸団体との連携強化
民間団体と連携し、児童虐待防止に関する広報啓発を実施。警察及び子ども応援委員会と連携し、実態把握や援助方針の確認・検討を実施。保護者の負担軽減を図る取り組みや、児童委員や保育所・学校職員に対し児童虐待の早期発見、対応に関する能力の向上を図る研修を実施。

継続 子どもの放課後の安全な居場所づくり
（トワイライトルーム・スクールや学童保育の環境整備）
子どもの放課後の安全な居場所拡充を図るため、令和4年11月に新たな方針を計画策定、引き続き、子どもの安全な放課後の居場所確保策を提案します。

日頃は皆様より格別のご厚情を賜り、本当にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症が蔓延して早三年、昨今の不安や疑問の声は途切れることはありません。
地域に密着し、地域に即した課題や問題を解決していくことが市会議員の役割です。懸命に働くこと、愛しい子を育てること、大切な家族と営む生活。そこには必ず「もつとこうだったら良い」という想いがあります。その想いを形にして前へ進めて行くことが名古屋の未来を創っていく、と私は信じています。
今後も皆様のご期待に沿えますよう努力して参りますので、変わらぬご指導のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

教育子ども委員会/
防災・エネルギー対策特別委員会 委員長

名古屋市議員
ひび美咲

保育園に通う息子の育児と仕事に日々奮闘中。
モットーは「困難に直面した時や、辛い時こそ笑顔」。

名古屋民主市議団
市政報告書2023年新春号

名古屋市政ニュース

市立小体育館にエアコンを設置

夏場の熱中症対策として、市内の市立中学校に加えて、すべての市立小学校の体育館にもエアコンが設置されることになりました。令和5年度から整備に着手し、令和6年度以降に工事が始まる見通しです。

市内に公立の夜間中学を設置

20年の国勢調査によると、市内で15歳以上で未就学や中学を卒業していない方が1万500名ほどいます。市は、さまざまな理由で義務教育を十分に受けていない人向けの「夜間中学」を設置する方針を発表しました。



がん検診無料クーポンの対象拡大

市が5年ごとに配布しているがん検診の無料クーポンの対象が、胃がん、肺がん、前立腺がんにも広がります。市が実施する全6種類のがん検診がすべてクーポンの対象になります（開始時期は今後検討）。

観光拠点の公園トイレを快適に

令和5年度から名城公園、鶴舞公園など観光拠点の公園の全トイレにトイレトーパーが順次配備されます。快適なトイレ環境の整備を通して、都市の魅力向上につなげていきます。



ひび美咲のお約束 4年間の振り返り



ひび美咲事務所

平日 午前10時～午後5時まで

〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E
TEL : 052-777-3193 FAX : 052-777-7330
Email hibikenoffice@hibiken.com



Facebook



Instagram



公式LINE

LINEでコロナ関連情報などお役立ち情報を配信中

QRコードを読み込んで友だち追加

議会だより

ひび美咲の市政活動報告です。
9月、11月の本会議における個人質問と
市の答弁より、要点を抜粋してご報告します。

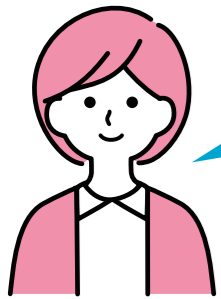


敬老パス制度に係る市長公約について

9月定例会

こんなご相談をいただきました

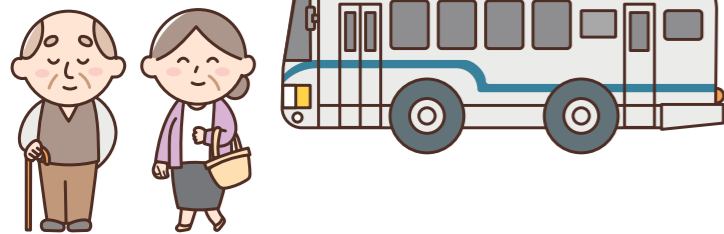
妻の介護で週3回、病院に通っている。自宅から駅が遠いのでバスと地下鉄を乗り継いで利用をしているが、730回の利用制限が設けられてから、買い物へも出づらく困っている。バスと地下鉄の乗り継ぎカウントを一回に出来ないものだろうか。



令和4年2月に敬老パス制度の変更がなされ、名鉄、JR、近鉄等へ対象交通が拡大されてより使い勝手のよい制度となった。その一方で、この敬老パス制度を持続可能にするための財源確保策として730回の利用上限が設けられた。現状では乗り継ぎの度に1回ずつカウントされるため、直行のルートがない地域を中心に不公平感を指摘する声が出ている。



中日新聞掲載



ひび美咲

敬老パスの利用は 買い物、通院、ボランティア、家族の介護など多岐にわたる。回数制限は生活の質そのものの低下を招くことになる。コロナ禍で外出の機会が減っている今こそ、気兼ねなく敬老パスを使って外出ができるよう、市として後押しをするべきではないか。

河村市長

「市バスと地下鉄を乗り継いだ場合のカウントを、現状の2回から1回にする」という市長選挙時の公約実現のために検討するよう指示している。市バスと地下鉄から先行的に条件緩和を実施する。

ライフステージに応じた女性の健康について

11月定例会



こんなご相談をいただきました

最近生理の貧困や女性特有の体の変化について色々な場所で取り上げられるようになった。だが女性は生理だけではなく、妊娠・出産・産後・更年期と、ホルモンの変化によって色々なステージがある。それらがもっと社会的に認知されて理解が進めば、もっとも働きやすい環境にもなるし、生活がしやすくなると思う。

女性の社会進出が叫ばれるなか、健康をおざなりにして物事を進めるわけにはいかない。女性の健康がタブーでなくなりつつある今だからこそ、それを重視することは「女性活躍推進」をはじめとするこれからの経済発展には不可欠。正しい知識と理解を深めることが大切である。



ひび美咲

本市では市民が健康で心豊かに暮らせるよう「健康なごやプラン21」が策定されている。この計画の中に、本市独自の目線として来年度策定を予定している計画に「女性の健康」という視点を盛り込む必要があると考えるが、いかがでしょうか。

健康福祉局長

ご指摘の通り、女性の社会進出が進むなか、あらゆる場面で「女性活躍推進」を図るためには、女性を取り巻く健康課題への社会的関心・理解を深めることが重要と考える。次期計画の策定時には、国の動向や有識者の意見を伺いながら、「女性の健康」という視点からの検討も行っていく。

「犬猫等の動物虐待防止のための専用ダイヤル」について



こんなご相談をいただきました

名東区内の池で、虐殺された猫の死骸が大量に発見された。子供も小さい、その公園でよく子供を遊ばせている。怖い事件が起きないか、とても不安。動物を虐待している人を見かけたことがある、相談窓口がたくさんありすぎてどこに連絡を入れていいか迷う。児童虐待は専用ダイヤルがあるのに…。

ひび美咲

保健センターや動物愛護センターなど、さまざまな相談窓口はあるが、専用ダイヤルを設置し、窓口を一元化することは効果的だと考える。本市においても、犬猫等動物虐待事例の相談受付を行う専用ダイヤルを設置してはどうか。



健康福祉局長

専用ダイヤルの設置は、動物の不適正飼養や多頭飼育崩壊などの情報を広く収集し、実態の早期把握、虐待を未然に防ぐことにつながる。動物の命を助ける観点から、検討をしていく。